



臨床腫瘍センターだより

第40号 (2012年5月8日)

プロトコルの登録申請をお願いいたします！

現在プロトコル委員会では、入院レジメンシステム導入へ向けたプロトコルの審査をすすめております。今年半ばには入院レジメンシステムが導入予定となっております。導入後のスムーズな運用にはレジメン登録が必須です。これまで外来を中心に行われてきたレジメン登録であります。現在外来化学療法センターでは約130のレジメンが運用されております。抗がん剤治療はレジメンシステムよるものが大半となり、レジメン以外の治療についても早期にレジメン登録へと切り替えていただいております。運用する中でいろいろな問題点も見えてきており、臨時採用薬などに対する対応や、緊急な治療に対するレジメン審査の対応、アルコールを含む薬剤に対する注意喚起をいかに行うかなど、日々検討が行われています。

レジメン管理の目的は、安全ながん化学療法、標準的ながん薬物療法の提供にあります。安全ながん化学療法には医療従事者間でレジメン情報を共有し、相互にチェックを行うシステムの構築が大切です。また、承認・評価をすることによって、エビデンスに基づいた標準的ながん薬物療法を実施していくことも重要です。これまでの外来治療においても、各医療スタッフがレジメン情報を共有することで投与内容の確認、支持療法の共通化、患者様への正確な情報提供がなされてきました。今後はこの流れを病棟治療へと広げ、病院全体が一体となって行っていきたいと考えております。

現在の診療の流れから入院レジメンシステムへの移行へは、大変な労力を伴うと思われませんが、抗がん剤を適正に使用するためにはレジメンの登録が第一歩となります。年に数度しか用いない利用頻度の少ないレジメンもあるかとは思われますが、すべてのレジメンを登録評価し福島医大全体での治療とすべく、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(薬剤部 星 正弘)

☆吉田富三記念 がん哲学外来3周年シンポジウムの開催について☆

平成24年9月16日(日)午後12時30分〜15時30分、コラッセふくしま多目的ホールで、「吉田富三記念 がん哲学外来3周年シンポジウム」を開催致します。

これは平成22年4月から臨床腫瘍センターで開催してきたがん哲学外来の3周年を記念するものです。当院に毎月来られている順天堂大学の樋野興夫先生を中心に2、3人の講師の先生方からご講演頂く予定です。また、シンポジウム後半では、がん患者の立場からのご発言を含めた講師とのパネルディスカッションを企画しています。時間や講演者など、詳細が決まり次第ご案内致しますので、よろしくご予定下さいませようお願い申し上げます。皆様のご来場をお待ちしております。(MSW 古山寿美恵)

〈4月外来化学療法センター利用状況〉 利用者数 313名

肝胆膵・移植外科	26	血液内科	18
呼吸器外科	10	婦人科	14
消化管外科	44	泌尿器科	14
乳腺、内分泌、甲状腺外科	97	皮膚科	15
呼吸器内科	36	リウマチ・膠原病内科	4
消化器内科	10	小児科	24
整形外科	1	合計	313

臨床腫瘍セミナー開催案内

日時: 平成24年 5月22日(火) 18時~19時
場所: 11号館(臨床講義棟)第二臨床講義室
演題: 「これからの福島の小児がん医療(仮)」
講師: 福島県立医科大学
臨床腫瘍センター
次長 菊田 敦 先生

Cancer Board開催案内

5月 17日(木) 18:30~ 消化器
5月 28日(月) 18:30~ 骨軟部
19:00~ 悪性リンパ腫

医療従事者を対象に、各臓器別に診療科横断的な腫瘍カンファランスを定期的で開催しております。医療従事者であればどなたでも出席できます。

※大学院生は共通必修科目(規定の8)に該当します

文責:臨床腫瘍センター <問い合わせ先> 内線:3160 E-mail:hayasi-y@fmu.ac.jp 担当: 林

